

令和3年度 第2回オープンスクール



令和3年9月18日（土）

千葉県立千葉盲学校

【授業展開一覧】

1. 小学部

1校時

クラス・グループ	教科名	内 容	障害への配慮点
1-1	日常生活の指導	荷物整理、着替え、 係り活動、朝の会	自分で荷物の出し入れや移動ができるように、ガイドロープの活用を促します。 着替えは、ボタン（目印）の位置を触って確認することを伝えます。
2、3-1	算数	18までの繰り上がりの ある足し算	時計の学習では、文字や短針長針が立体になっている拡大時計の模型を使います。 自分でコマを動かせるようにスゴロクのマス目が立体になっている物を使います。 数字が見やすいように、黒地白文字の大きいサイコロを使用します。
2、3-1	自立活動	認知個別課題学習：図形、 大小、長短、高低等	図形の名称や大小、長短、高低等について、様々な素材の感触に触れて取り組みます。
2、3-1	国語	詩を味わおう、ローマ字	アルファベットの点字の書き方を丁寧に確認しながら学習を進めます。
3-2	国語	詩を味わおう、ローマ字	大文字と小文字の表記や母音と子音を使った表記を確認しながら学習を進めます。 タブレットを使って字形や筆順を確認できるようにします。
4-1①	算数	大きい数のかけ算	そろばんやパーキンスなど、机上に置くものの位置を確認してから授業を始めます。 文章題では、解答用紙の書き方（段がえ、マス空け等）を確認しながら進めます。
4-1②	算数	2位数の足し算と引き算	はっきりとした色の食材模型を使用します。 決められた数の3種類の食材模型をそれぞれ分けられるようにオレンジ、黄色、青の皿を準備します。 それぞれの食材の値段を点字で皿に貼ります。

4-2	国語	ごんぎつね	文章の内容を自分が登場人物になりきって演技をすることで、内容の理解を深めることができるようにします。
6-1	日常生活の指導	荷物整理、着替え、係り活動、朝の会	視覚的に日課がわかるように絵カードや写真カードを使用します。 立つ位置に点字ブロックのマットを用意します。 友達と動線がかぶらないような席の配置にします。支度の際は、自分のロッカーがわかるようにわかりやすいランドマークを付けておきます。
6-2	家庭科	暑い季節を快適に	色々な種類の衣服に触れながら洗濯表示の確認をするようにして、具体的な特徴を考えられるようにします。

2校時

クラス・グループ	教科名	内 容	障害への配慮点
1-1①	自立活動	歩行指導	教師と児童が適度な距離をもち、教師の動きや音声を受け取りやすくします。 課題に対する児童の答えが正しいかどうかを分かりやすくするために○✕の表示と効果音が出る器具を使用します。
1-1②	自立活動	課題学習	活動に見通しがもてるように授業の始めに活動内容を項目立てて説明します。 課題に応じて、手指の使い方を児童と一緒に確認します。
2、3-1①	音楽	音楽発表会に向けて	ポイントとなる音の鍵盤に印をつけておき、手がかりにできるようにします。 ベルの位置を十分に確認してから演奏に入ります。
2、3-1②	算数	円と球	図に触る時間を十分に確保します。 コンパスを扱う活動では、児童が自分で道具を扱えるように細かい道具を置くトレーや教材を机の上に固定するためのテープを使用します。

3-2	算数	円と球	<p>コンパスで円をかいたり線を引いたりする際には、円の中心や始点が分かりやすいようにコントラストのはっきりした色ペンを使用します。</p> <p>長さを比較する際には、違いに気づきやすいように、色違いのマグネットを線の上に重ね、確認できるようにします。</p>
4-1	日常生活の指導	今日の天気・気温と献立食材の音声検索、学習の予定確認	<p>「今日の日付カレンダー」を作成する際は、台紙と日付・曜日カードとのコントラストをはっきりさせて提示します。</p> <p>日にち用マグネットは立体の物を使用し、何個分かを触って分かるようにします。</p> <p>点字で書かれた学習予定表や献立表を用意し、自分で確認できるようにします。</p>
4-2	算数	垂直、平行と四角形	<p>要点がわかりやすいようにプリントを作成します。</p> <p>交わる2本の直線は、色を変えてわかりやすいようにします。</p>
6-1	生活単元学習	修学旅行に行こう	<p>大きさを調節したり、コントラストをはっきりとさせたりした絵カードを使用します。</p> <p>使う道具を触って確認する時間を設けます。</p>
6-2	理科	月の形と太陽	<p>暗い部屋で、ボール（月）に懐中電灯（太陽）の光を当て、児童が月の形をiPadで撮影することで月の疑似観察をします。</p> <p>児童が使い慣れたiPadを使って撮影し、実験結果を後から確認できるようにします。</p>

2. 中学部

1校時

クラス・グループ	教科名	内 容	障害への配慮点
A 1 ①	生活単元学習	依頼された仕事に取り組み もう	出来高や残りの数を数えるときに、実際に触って確認できるようにします。
A 1 ②	英語	道案内をしよう	教室名の単語カードと方向や動作を示す英文を準備します。 方向や動作を指示する英文は発音しながら体を動かして、確認します。
1 B	国語	文法への扉	点字の分かち書きと文法の文節の区切りが異なること、点字の分かち書きが複合語で同じであったり違ったりすることがあることに留意して説明します。 文や問題を見失わないように、教科書の掲載ページを丁寧に確認しながら進めます。 図、色づけなどが生徒に見えやすいか注意し、必要に応じて言葉で説明しながら活用します。
2 B	音楽	音楽発表会に向けて	<ピアノ連弾> 弾き始めの音については、鍵盤の位置を一緒に確認してから演奏を始めます。 音が跳躍するフレーズは、鍵盤の距離間を掴めるように丁寧に取り出して練習をします。 <箏> ポイントとなる音の弦の横に印をつけておき、手がかりにできるようにします。 音は弦の番号で示し、音と位置関係を理解できるようにします。
3 B	理科	物体の運動	実際の運動記録ではなく、点字で記された運動記録を用意します。 運動記録の意味が理解できるように模擬的に実験を行います。

2校時

クラス・グループ	教科名	内 容	障害への配慮点
A 1	作業学習 (農耕)	畑の手入れ(晴天時) 水耕栽培の準備(雨天時)	<p>荷物を置く場所を固定し、使用する道具をバケツにまとめることで自己管理ができるようにします。</p> <p>作業する場所が分かりやすいように、区画をロープで区切ります。</p> <p>まぶしさがある場合は、遮光眼鏡の装着を促します。</p> <p><雨天時></p> <p>作成するものがイメージできるように、見本を準備します。</p> <p>はさみで切る部分に太い線を書いておきます。</p>
1 B	数学	正負の数 文字の式	<p>触って確認できる数直線教材を用意します。</p> <p>式を読み上げるときに「」を「括弧始まり」など、省略せずに読み上げます。また、点字の特別な表記が必要な場合は、表記を説明します。</p>
2 B	英語	助動詞 must, have to	<p>マグネットを使用して点字を表し、否定形や語順の確認をします。</p> <p>新出単語は具体物を使用して確認します。</p> <p>UEB 縮約語に関して、新出部分をプリントにまとめて一覧で学習できるようにします。</p>
3 B	社会	三権分立のしくみと私たちの政治参加	<p>被告人、検察官など裁判に関わる語句の意味を分かりやすく言葉で伝えます。</p> <p>より理解しやすいよう、裁判について動画を用いて学びます。</p>

3. 高等部

1校時

クラス・グループ	教科名	内 容	障害への配慮点
A 1	日常生活の指導	口腔内の衛生	<p>口腔内模型を用いて、歯の並びや大きさ等を触察します。</p> <p>磨きにくい箇所に手触りがザラザラするシールを貼り、すき間や凸凹を触察します。</p> <p>口腔内模型を自分の歯と同じ向きにそろえたり、歯ブラシの持ち方を伝えたりして、歯ブラシの動きを確認します。</p> <p>自分の歯と口腔内模型を触り比べながら、自分の歯を磨きます。</p>
総 3	総合的な探究の時間	進路について	<p>あらかじめ項目を分けた点字プリントを用意し、自分の考えをまとめやすいようにします。</p> <p>墨字 22 ポイントのプリントを用意します。その際、書見台を使用します。</p>
2 B	総合的な探究の時間	進路について	<p>必要な箇所だけ点字に直して自分で確認するようにします。</p> <p>細かい部分はiPadで拡大して確認するように声を掛けます。</p> <p>また、拡大したときに目印となる箇所を口頭で伝えながら学習を進めます。</p>
3 B	総合的な探究の時間	進路について	<p>初めに学習する内容を板書し、授業の見通しがもてるようにします。その際に、iPad や単眼鏡を活用するようにします。</p> <p>質問する内容をリストアップし、どの項目が重要か教師と一緒に確認しながら情報を精選するようにします。</p>

2校時

クラス・グループ	教科名	内 容	障害への配慮点
A 1	作業学習	製品に合った機織りをしよう	<p>触ってわかる糸や素材を組み合わせながら織るように指示し、自分で確認しながら織るようにします。</p> <p>道具の位置を決め、ラックを活用することで、道具を無くさず、安全に扱い、織れるようにします。</p> <p>ガイドを使用し、製品に必要な長さを触って確認しながら織れるようにします。</p>
総 3	生産学習	製品に合った機織りをしよう	<p>触ってわかる糸や素材を組み合わせるにより、自分で確認しながら織ることができるようにします。</p> <p>道具の位置を決め、ラックを活用することで、道具を安全に扱い、織れるようにします。</p> <p>ガイドを使用し、製品に必要な長さを触って確認できるようにします。</p> <p>パターン織りの際、生徒個々の見えやすい色を使用したり、教師と確認したりすることにより、色の間違いがないようにします。</p>
2 B	数学 I	三角比 三角形への応用	<p>点字の資料を用意し三角形の面積を求める公式をイメージしやすくします。</p> <p>暗算による計算の時間と確認の時間を十分にとります。</p> <p>墨字資料を用意し、三角形の面積を求める公式をイメージしやすくします。</p>
3 B	社会と情報	入力練習 問題解決の実践	<p>PCトーカーや拡大鏡などを自分で設定し、コンピュータを自分の見え方や使い方に合わせるよう促します。</p> <p>ヘッドフォン等で音を確認しながら、できるだけ手元を見ずにコンピュータ操作をできるように言葉掛けをします。</p>

4. 理療科

1校時

クラス・グループ	教科名	内 容	障害への配慮点
保 3	校内臨床実習	校内職員を対象とした 問診・諸検査・あんま マッサージ指圧施術	パソコンではモニターや拡大鏡を使い、文字等を大きくしたり、白黒反転でコントラストを付けたりして使用します。
専保 1	解剖学	下肢の筋	模型を観察する際は、自身と向きを合わせて行います。 漢字の説明を丁寧にします。 重要箇所については何行目のどこにチェックを入れるか丁寧に説明します。
専保 2	心理学	変性	教科書のページを指示し、図や表などの検索を支援します。 遮光カーテンを引き、羞明の生徒の学習環境を整えます。
専保 3	保健	国家試験対策 (解剖学の復習)	資料の問題番号を提示します。解剖学的な漢字、構造について丁寧に説明し、理解を促します。 羞明を有する生徒には、遮光カーテンを引きます。
専理 1	衛生学・ 公衆衛生学	体温	漢字の説明を丁寧に行い、イメージをつきやすくします。 教科書のページや行数を指示し、拡大読書器利用者を考慮しながら授業を進めます。また、教室環境（遮光カーテン、照明など）にも配慮を行います。
専理 2	リハビリテーション 医学	脳血管障害の リハビリテーション	ICTの活用として、資料などをテキストデータで配布します。 遮光カーテンで羞明に対応し、拡大読書器で教科書や資料を読みます。
専理 3	校内臨床実習	校内職員を対象とした 問診・諸検査・あんま マッサージ指圧・はり ・きゅうによる施術	同室内の生徒や職員でお互いに声を掛けながら移動や準備に取り組むよう指導します。触察指導では適宜直接手を取り指導に当たります。パソコンはスクリーンリーダーを使用します。

2校時

クラス・グループ	教科名	内 容	障害への配慮点
保 3	校内臨床実習	校内職員を対象とした 問診・諸検査・あんま マッサージ指圧施術	パソコンではモニターや拡大鏡を使い、文字等を大きくしたり、白黒反転でコントラストを付けたりして使用します。
専保 1	解剖学	下肢の筋	模型を観察する際は、自身と向きを合わせて行います。 重要箇所については何行目のどこにチェックを入れるか丁寧に説明します。
専保 2	東洋医学一般	経脈病証	専門用語の漢字は説明をして、理解への一助とします。 録音をして、後でノートにまとめるので、ゆっくりとわかりやすいように話します。
専保 3	東洋医学 臨床論	悪心と嘔吐	生徒が録音をしているので、滑舌良く、区切りを入れながら説明します。漢字は説明を加えます。重要部分は繰り返したり、「重要である」と言葉で伝えたりします。 教室環境（遮光カーテン、照明など）にも配慮を行います。
専理 1	生理学	シナプスの可塑性	専門用語の漢字を丁寧に説明し、理解を促します。重要なキーワードを指示し、ノートテイクを支援します。 羞明を有する生徒に遮光カーテンを引きます。 教科書の図や表のページを指示し、検索の支援をします。
専理 2	東洋医学概論	五臓の相互関係	羞明を有する生徒に遮光カーテンを引きます。 読書器を使用すると全体像がわかりにくいため、教科書の該当箇所を行数やページの何割くらいの箇所かで伝えます。
専理 3	校内臨床実習	校内職員を対象とした 問診・諸検査・あんま マッサージ指圧・はり ・きゅうによる施術	同室内の生徒や職員でお互いに声を掛けながら移動や準備に取り組むよう指導します。触察指導では、適宜直接手を取り指導に当たります。パソコンは、スクリーンリーダーを使用します。